

①案内図・位置図

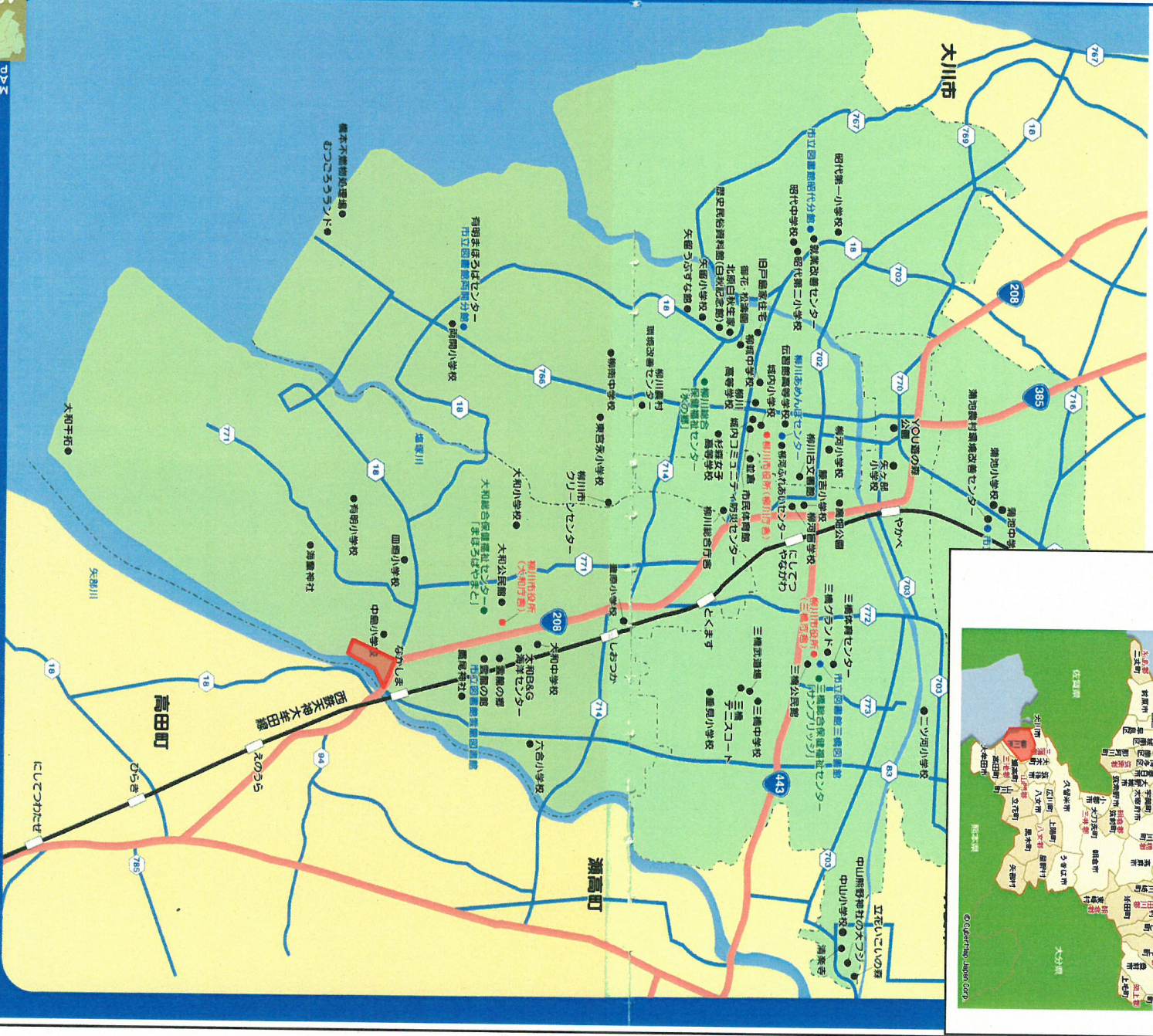
中島二重

地区

位置図

柳川市

案内図



【整備地区区域図】

地区名

中島二重地区



凡 例	
	整備地区
	重点整備地区



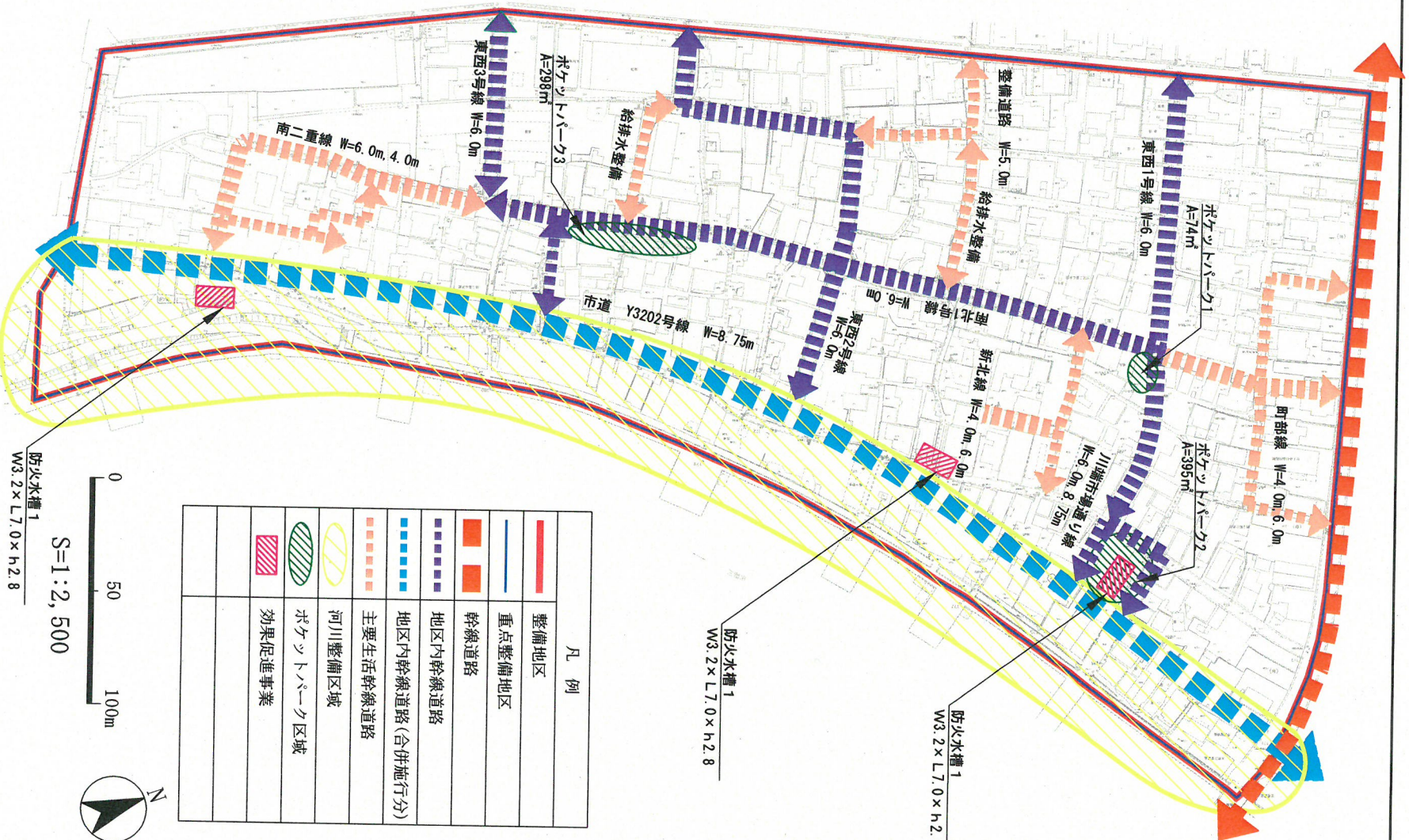
S=1:2,500



【整備地区計画図】

地区名

中島二重地区



社会資本整備総合交付金チェックシート (住 宅)

計画の名称:福岡県における住宅・建築物の安全性の向上(第2期)(防災・安全) 都道府県名:福岡県
計画作成主体名:

福岡県、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、東峰村、大刀洗町、大木町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町

チェック欄

I. 目標の妥当性

①関連する各種計画との整合性

1) 関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。 ○

②地域の課題への対応

1) 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。 ○

2) 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。 ○

3) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 ○

ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善
ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用
オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進
キ その他(空き家の適正管理と利活用及び老朽建築物の除却等の推進)

4) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。 ○

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等

1) 計画の目標と定量的指標の整合が図られている。 ○

2) 事業内容は計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。 ○

3) 定量的指標は市民にとって分かりやすいものとなっている。 ○

④事業の効果

1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。 ○

2) 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。 ○

3) 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。 ○

III. 計画の実現可能性

⑤事業の熟度

1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 ○

⑥計画実現に向けた連携等

1) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。 ○

2) 地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。 ○

3) 交付期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。 ○

4) 社会資本総合整備計画(地域住宅計画)を公表することとしている。 ○